



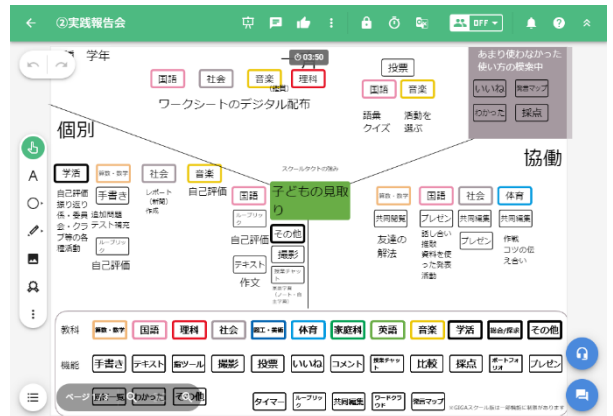
スクールタクト×小・中事例報告

6月9日のスクールタクトのセミナーで、神奈川県公立教員による事例報告会がありました。

昨年度から使い始めました。子ども達のキャンバスが共有できることからスクールタクトが大活躍！！主教科から使い始め、自由進度学習などで使っています。算数の授業では、スクールタクト上で学習計画表を立て、プリント学習の代わりにスクールタクト上で学習を進めています。ワークシートをPDFで貼り付けたり、写真に撮ったりして配布しています。プリントの印刷の必要もなくとても便利です。また、「朝ノート」(けテぶれ)で自主学習ノートを写真に撮ってコメントをしあい、交流しています。

参加者の先生にも「Yチャート」でスクールタクトをどのように使っているか書いていただき、意見交流をしました。その中で、「ルール作りはどのようにしていますか？」という質問に対して、「ネットだから特別なルールというわけではなく、日頃からの学級経営の中で指導していました。また、なにか制限するのではなく、まずやってみようという姿勢を大切にしました」などの実践が紹介されました。

なお、セミナーの様子は、下記のスクールタクトYouTubeに公開され、誰でも視聴可能です。また、毎週、トピックごとにセミナーが開催。下枠のQRコードから申し込みができます。



【スゴ技】課題テンプレートを使ってみよう！

あるのは知っていたけれど、使っていなかったあの機能……。このコーナーでは、スクールタクトの魅力あふれる機能をご紹介します！

新規課題を作成するときに、いつも「白紙」を選んでませんか？例えば「小5」「算数」「すべて」「合同な図形」で検索をすると、すぐに使える課題テンプレートがヒット！

そのまま使ってもOK！内容を修正して配布してもOK！

これから学習する単元のキーワードを、一度検索してみてください！きっと、スクールタクトの使い方が一段と深まりますよ！

<MEMO>

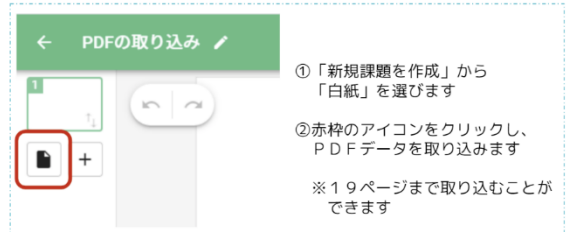


はじめての教材作成～算数・数学&社会～

6月16日、スクールタクト主催の算数・数学&社会の教材作成のセミナーがありました。

算数・数学パートでは、PDF資料の取り込みと採点方法などの説明があり、社会科パートではワードクラウドを使った授業の作り方の紹介がありました（GIGAバック版の契約校の場合、ワードクラウド機能は使えません）。

PDF資料の取り込みは、これまで先生方が作ってきたワードやエクセルの資料をPDF形式に保存して取り込むだけ！簡単にスクールタクト上に取り込むことができます。



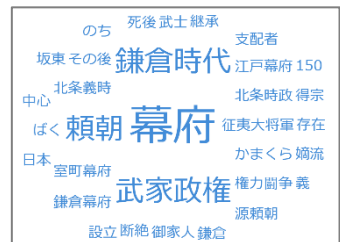
採点ツールは、6月下旬にさらに使いやすく！

これまで一人一人、画面を切り替えて、ボタン

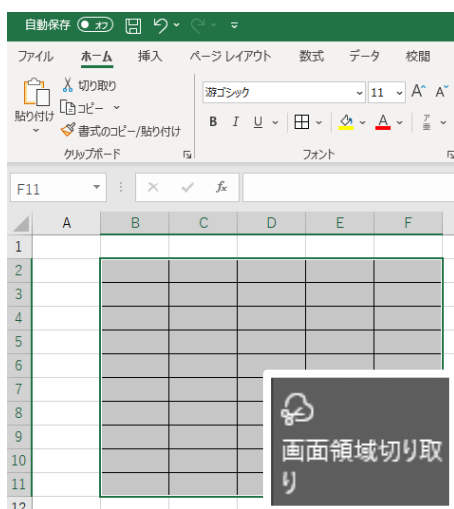
を押して、採点して…という動きから、採点モードで、課題を提出した児童生徒の回答を連続して採点できます。左図が、実装予定の採点ツールバーです。*ベータ版のため若干変更する場合があります。

ワードクラウド（右図）は、児童生徒の言葉を頻度の高い順に抽出する機能です。新たな気づきを得られるととても好評です！

なお、セミナーの様子は、後日、下記のスクールタクトYouTubeに公開され、誰でも視聴可能です。また、毎週、トピックごとにセミナーを開催！下枠のQRコードから申し込みができます。



【ウラ技】表をスクールタクトで作る方法



「スクールタクトで表って作れないんですか?」とよくいただく質問。スクールタクト上では作れないのですが、裏技を使うと簡単にできます！

*WindowsとMacで若干動作が異なります

- ① エクセルで表を作成し、スクリーンショットを撮影します。
- ② スクールタクト上でペースト（Ctrl+V） *ペーストではない画像として表を貼ることができます。
- ③ 表の上にテキストボックスを置いて、文字を入力します。

スクールタクトのペーストとCtrl+Vでは少し違う動きをするんです。画像としていろいろなものを貼り付けることができます！

<MEMO>



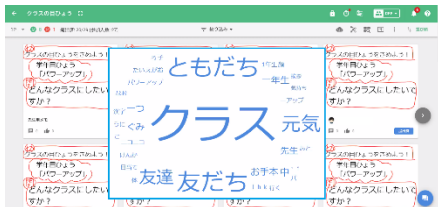
はじめての教材作成～学級活動・図工&美術～

今回のセミナーは実際に岡山県倉敷市の小学校教員にご登壇いただき、小学校低学年での実践をご紹介します。

粘土の造形など図工の作品を記録するのに、スクールタクトを使っています。1ページ目には、めあてや進め方を説明し、2ページ目に作品の写真を撮ります。その後、コメント機能でお互いに交流をして、鑑賞しあいました。



デジタルカメラで撮っていた時と比べ、「誰のどの作品かすぐにわかること」「子ども達が自分たちで記録がとれること」「子ども達が自分の作品をよりよく見せようと構図を工夫しながら写真を撮れること」が、スクールタクトで実践する良さだと感じています。



学級活動では、クラスの目標作りに使いました。子ども達書いた内容を「ワードクラウド」で可視化し、共通となるキーワードを使って、目標を作ることができました。

また、昨年のコロナ禍での分散登校では、Aグループ・Bグループの交流をするために、お互いがキャンバスでエールを送り合いました。写真を撮ったり、メッセージを書いたりしました。その後、タイピングの仕方を伝えると、練習する時間を特にとっていませんでしたが、2年生でもあつという間にローマ字入力ができるようになりました。



いいねやコメントも、どういう声かけをしたらよいか考えさせる機会を持ちました。また、コメントしてもらうためには、どういう内容をかけば「コメントしやすいかな」と言うことも意識させるようにしました。そうすると「みんなはどうする？」など、問いかけが見られるようになりました。いつも子ども達と試行錯誤していくうちに、コメントの質が上がってきて、「その子にあったやりとり」ができるようになりました。

こうした取り組みを続けた結果、子ども達なりに工夫して、相手のことを思う発言をしたり、その内容にあったコメントをしたりすることができるようになりました。そして、「友だちを増やすことができた」という子が増えたり、けんかなどのトラブルがなくなり、「相手を思う」という気持ちを育てることができたと感じています。



<MEMO>



明日から使える！～成績・夏休みの宿題！～

9日、コードタクト主催のオンラインセミナーでは、1学期末に向けてスクールタクト上のデータを成績に反映するやり方や、夏休みの宿題のテンプレートをご紹介します。

スクールタクトでは、採点データや「いいね」やコメントの発言マップなどを表計算ソフトで編集できる形式にダウンロードできます。また、ポートフォリオ機能（右図）を使うと、一人一人の学びの蓄積を見ることができます。1学期に学習した内容を振り返ったり、まとめたりする活動に使っていただけます。前回のセミナーでは、児童が図工の作品を撮影して、スクールタクトのキャンバスに貼り付け、交流したりして、ポートフォリオを活用した実践が報告されました。これまで児童の作品をデジカメで撮って管理していたり、教室に並べて評価していたりした作業が、スクールタクトですべて完結します！



また、夏休みの宿題は、「夏休みの計画」や「絵日記」など、2学期が始まってからまとめて確認をするのではなく、完成したら「提出」してもらうようにすることで、夏休みの勤務している日に確認をすることができます。「夏休みの計画」は、毎週シートを作成しておき、週末に児童が振り返りを書き、保護者の方がコメントをして課題を提出します。「絵日記」はスクールタクト上で描かせたり、用紙に描いたものを写真に撮ったりして提出させます。課題テンプレート検索で「夏休み」と検索すると、他にも様々な夏休み用のテンプレートを閲覧できます。

スクールタクトがリニューアル 新機能追加でさらに使いやすく！



今回のリリースでは、主に以下の機能を追加しております。

- ・ペンツールにマーカーペンを追加
- ・図形ツールにプリセットの図形を追加
- ・配布前課題のテンプレート登録
- ・授業をまたいでの課題複製
- ・スクールタクト活用ライブラリのメニューへの追加 等

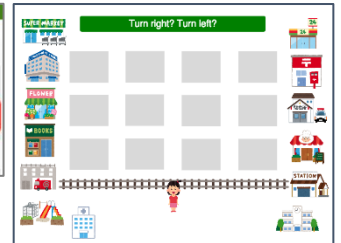
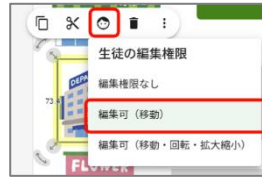
<MEMO>



はじめての教材作成～英語・総合的な学習～

13日、コードタクト主催のオンラインセミナーでは、「はじめての教材作成」として、総合的な学習の時間と英語の教材の作成の仕方をご紹介します。

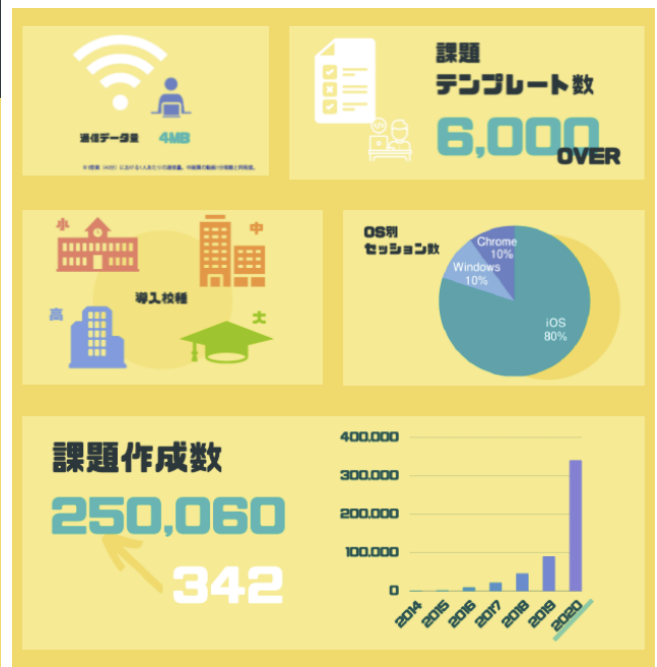
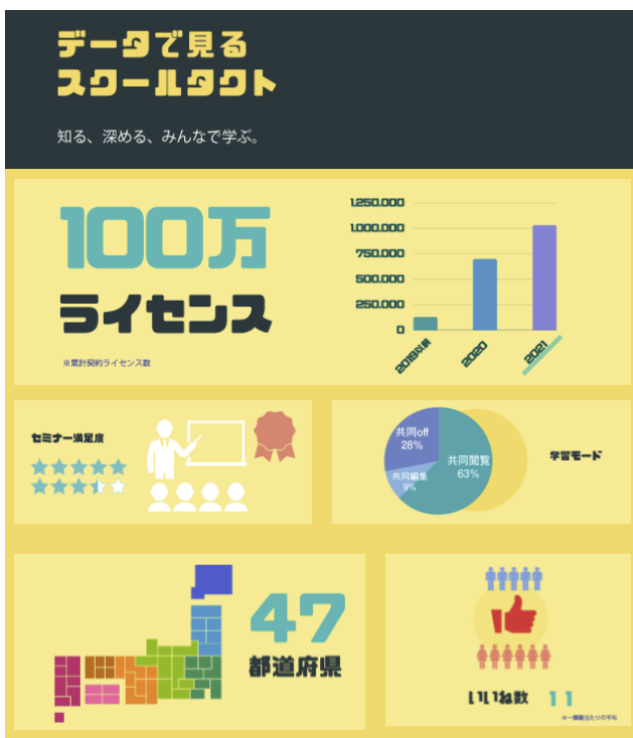
英語では、ムーブパーツ（動く教材）の設定の仕方を説明し、「道案内しよう」を体験しました。ムーブパーツとは、課題配布前に先生が「児童生徒が移動できる」「児童生徒が拡大・縮小・回転できる」「児童生徒が動かすことができない」など設定できます。そうすることで、絵カードを切って並べたりせず、簡単にスクールタクト上で操作することができます。



総合的な学習の時間では、「マンダラート」を使った活動をしました。課題テンプレートとして公開している「マンダラート」を使って、一つのテーマに対して、自分のアイデアをキーワードで書き出していきます。ぜひ、課題設定の最初にお使いいただければと思います。



なお、セミナーのダイジェスト映像は、後日、下記のスクールタクトYouTubeに公開され、誰でも視聴可能です。また、毎週、トピックごとにセミナーを開催！ 下枠のQRコードから申し込みができます。



<MEMO>

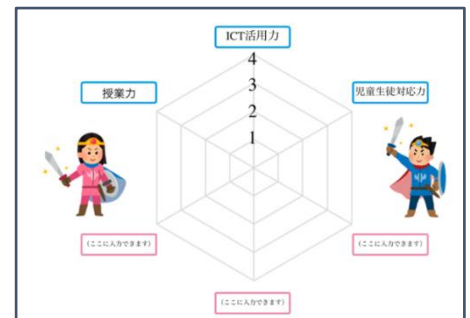


～夏休み大勝利作戦～

21日、コードタクト主催のオンラインセミナーでは、「夏休み大勝利作戦」として、校内研修のコーディネート方法についてご紹介しました。

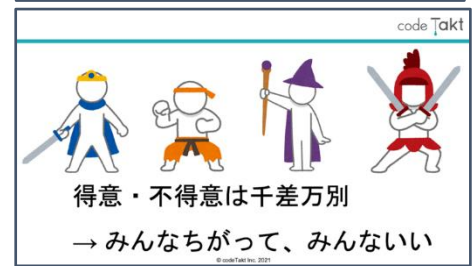
自校が得意な事や苦手な事を知る

本セミナーでは、ゲームでよく見かけるパロメーターを用い、所属している学校について、数値で表していただきました。（右記画像）画像内の上部青枠の単語は共通項目（授業力・ICT活用力・児童生徒対応力）として、下部桃枠の単語は自校オリジナルの項目を書き添えていただきました。「清掃力」「思いやり力」「団結力」などその学校を表す特徴的な言葉が多く出てきました。



得意・苦手を踏まえた校内研修作り ～みんな違ってみんないい～

参加した先生方が、実際に校内研修を行うとしたらどのように行うかを考えてもらいました。まずは、「得意を伸ばす研修」か「苦手を補う研修」どちらを行うか決め、その後、「研修時間」と「研修内容」を考えて共有しました。



「ICTの研修をしたい」といっても学校ごと事情は異なります。だからこそ各学校の実態にあった研修を行っていく必要があります。今一度、自校の特徴を可視化して得意や苦手について考えるのも良いかもしれません。本セミナーが一つのきっかけになれば幸いです。

「これならできる！ スクールタクト」校内研修冊子を配布

スクールタクト内の「活用ライブラリ」に、校内研修用として「これならできる！ スクールタクト」を掲載しました。先生方がこの内容に沿って校内研修を進めると、スクールタクトの操作に慣れていただける内容となっています。

また、他にも活用ライブラリには、児童生徒用の「スクールタクト検定」など様々なコンテンツを掲載しております。ぜひご覧ください。



【活用ライブラリ】 <https://schooltakt.com/library/>

<MEMO>